

# φ100nKP2本管給排気筒トップ

## 設置工事説明書

### ■ 工事される方へのお願い

- ・本品を指定する機器にご使用ください。
- ・作業時はけが防止のため、手袋などをして行ってください。
- ・機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。

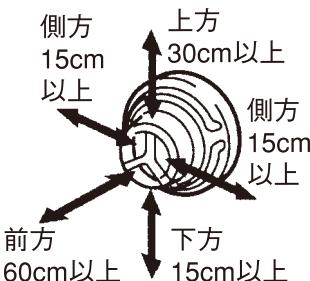
型 式
FFT-10-100
FFT-10-200
FFT-10-300
FFT-10-400
FFT-10-500
FFT-10-600
FFT-10-700
FFT-10-850

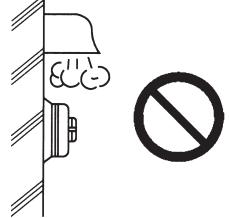
### 安全上のご注意

安全に設置・使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。  
表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
⚠ 危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的障害のみ発生が想定される内容を示しています。

下記の内容をよくお読みになり、正しく設置して安全にお使いいただけるようにしてください。

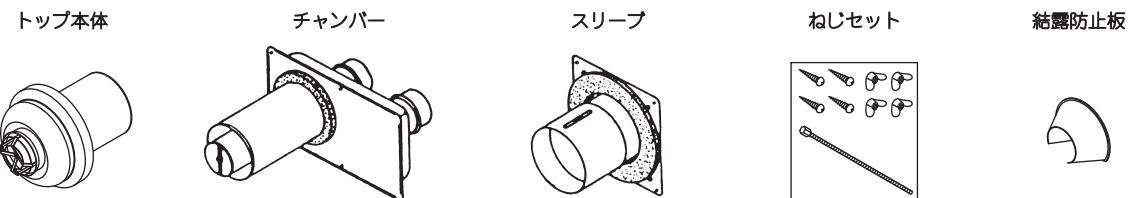
⚠ 危険	給気管・排気管には、防火ダンパーは絶対に取り付けないでください。 
	機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス会社に依頼し、有資格者による正しい工事が行われるようにしてください。
	工事は必ずこの設置工事説明書と「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会刊）」に従い、関係する法・条例などを遵守してください。この設置工事説明書に記載されている以外の設置が原因で生じた故障および損傷・人身事故などは工事者の責任となります。また保証期間内でも保証の対象となりません。
	給排気筒トップは給気・排気が十分できる場所（開放スペース）に設置してください。壁などに囲まれた場所への設置は不完全燃焼の原因となります。
	この給排気筒トップは、「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」（特監法）の対象品です。その設置工事（給排気工事を含む）は、ガス消費機器設置工事監督者が行うか、その監督のもとに行い、工事終了後は法律で定められたラベルを指定された個所に張ってください。
⚠ 警告	給排気にに関する設置基準や防火上必要な処置などの設置条件は、この設置工事説明書と「ガス機器の設置基準及び実務指針（日本ガス機器検査協会刊）」に従ってください。これらの設置条件を満たさない設置が原因で生じた故障および損傷・人身事故等は工事者の責任となります。また、保証期間内でも保証の対象となりません。
	給排気筒トップは右図の範囲を壁面に投影した範囲内に、燃焼排ガスが室内に流入するおそれのある開口部がない場所に設置してください。（排気吹出口から60cm以上離れた部分は除く）
	

	<p>給排気部材（給気管・排気管・吊り金具）は、指定の別売部品または適合するものを使用してください。</p> <p>ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火性危険物を扱う場所には設置しないでください。</p> <p>給排気筒トップの排気方向（約1m以内）に線入・網入板ガラスなどがない場所に設置してください。排気方向（約1m以内）に線入・網入板ガラスがあると、燃焼排ガスの熱でガラスが割れるおそれがあります。</p> <p>給排気筒トップは、給排気筒トップを設置する場所の周囲の壁などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができるとする場所に設置してください。</p> <p>給排気筒トップは必ず屋外へ通じるように設置してください。</p> <p>換気扇・レンジフードなどからの風が給排気筒トップに影響を与える場所への設置はしないでください。</p>
<b>⚠ 警告</b>	 <p>アンモニア・塩素・硫黄・酸類など腐食性ガスの発生する場所には設置しないでください。</p> <p>燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当らないように設置してください。変色・破損・腐食の原因となります。</p> <p>植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものの周囲には設置しないでください。</p> <p>積雪が予想される場合、給排気筒トップは周囲の積雪や落雪に阻害されないように施工方法を考慮してください。</p> <p>給排気筒トップ先端に危険物は置かないでください。</p> <p>給排気筒トップの先端から水蒸気（煙状のもの）や水滴が出ることがあります。給排気筒トップの位置は水蒸気の見えにくい場所や、水滴落下による床ぬれ・飛散による支障のない場所を選んで設置してください。</p>
<b>⚠ 注意</b>	給排気筒トップに指や棒などを入れないでください。けがや火災の原因になります。

## 1 設置工事前の注意

### (1) 梱包部品一覧

同梱品を確認してください。



●ねじセットには次の部品が入っています。

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| ①ノンプラグビス                 | — 4個 (スリーブ固定用)    |
| ②蝶ナット (M5)               | — 4個 (チャンバー取り付け用) |
| ③全ねじボルト (M4)<br>(化粧ナット付) | — 1個 (トップ本体固定用)   |

(2) トップの種類と壁穴の径

ウォールトップは取り付ける壁厚によって下記のものがありますので選択してください。  
また、壁穴の径は下表を確認してください。

●給排気筒トップの適応壁厚と穴径は下表のとおりです。

型 式	壁 厚 調 整 範 囲	壁 穴 の 径
FFT-10-	100	100 ~ 150 mm
	200	150 ~ 250 mm
	300	250 ~ 350 mm
	400	350 ~ 450 mm
	500	450 ~ 550 mm
	600	550 ~ 650 mm
	700	650 ~ 750 mm
	850	750 ~ 950 mm
		175 mm (200 mmでも可)
		200 mm

(3) 水切り勾配

ウォールトップは2°の下り勾配がついていますので正確に取り付けてください。（正しい施工方法（後述）で施工すると自動的に2°の下り勾配になるように設計されています）

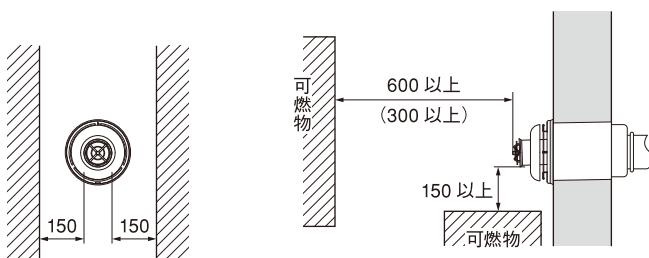
(4) 設 置 基 準

ウォールトップと周囲の「可燃材料、難燃材料または準不燃材料による仕上げをした建築物の部分など」とは、次の離隔距離をとって下さい。

ウォールトップ周囲の離隔距離

離隔距離 吹出し方向	上 方	側 方	下 方	前 方
水平1方向	300	150	150	600 (300)

備考 ( )内は、防熱板を取り付けた場合及び「不燃材料で有效地に仕上げをした建築物の部分等」ととの寸法を示します。周囲が不燃物の場合は、ガス機器の工事説明書に記載してある離隔距離を参照して下さい。

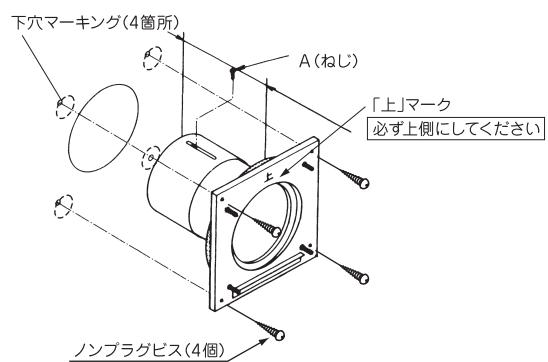


## 2 取付方法

### (1) 室内側の取り付け

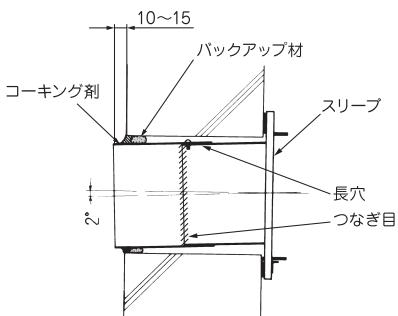
#### (a) スリーブの取り付け

- ① スリーブが壁から 10 mm~15 mm出るようにスリーブの長さを調整し、A(ねじ)で固定してください。
- ② 壁穴にスリーブを差し込みスリーブプレートが水平になるように位置を合わせて固定ねじ位置 4箇所を壁にマーキングしてください。
- ③ スリーブを取りはずし、マーキングした位置に下穴(穴径  $\phi 3.4$  mm)をあけてください。(4箇所)
- ④ 「上」マークを上にしてスリーブを壁穴に差し込み、付属のノンプラグビス 4本でスリーブのコーナー部 4箇所を壁面に固定してください。
- ⑤ 壁穴が変形または大きく開いている場合は、スリーブを取り付けて廻りをモルタルなどで補修してから、チャンバー、トップ本体を取り付けてください。



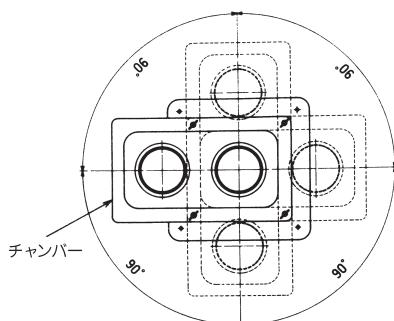
#### 注 1) 雨仕舞方法

- ① 壁面とスリーブの隙間にモルタルなどのバックアップ材を埋め込んでください。
- ② 壁面とスリーブの隙間をコーティング剤でコーティングしてください。

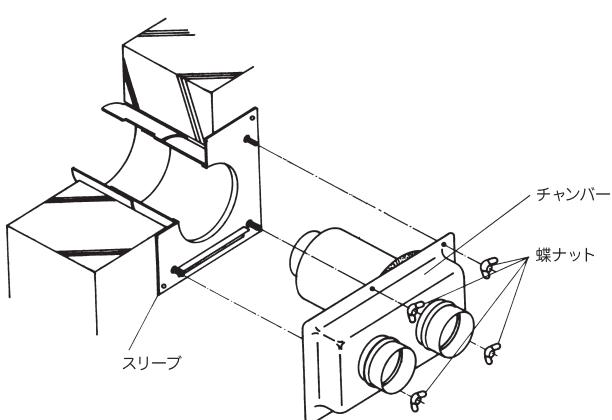


#### (b) チャンバーの取り付け

- ① チャンバーをトップ本体に差し込んでください。  
(排気管の位置を中心として給気管を 90° 間隔で 4 方向 <上下左右>に取り付けることが可能です。)



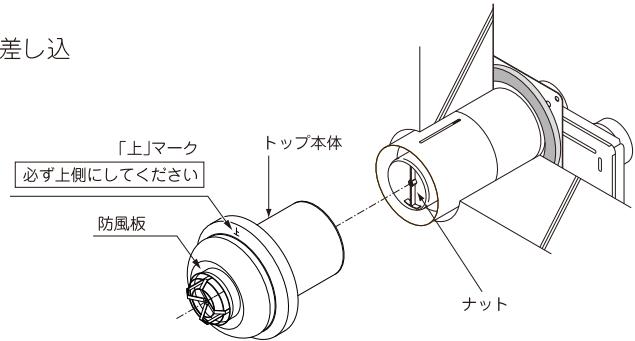
- ② チャンバーを完全に差し込んだ状態で、蝶ナット(付属品)4個で固定してください。



(2) 室外側の取り付け

(a) トップ本体の取り付け

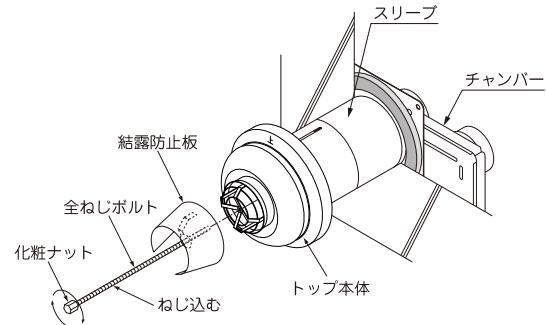
- ①「上」マークを上にしてトップ本体をチャンバーに差し込んでください。



(b) 全ねじボルト（化粧ナット付）の取り付け

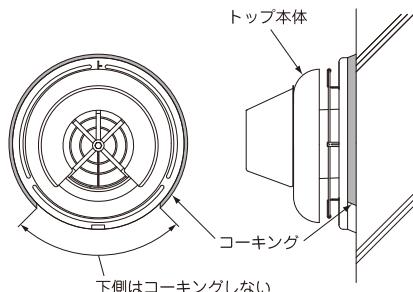
- ①トップ本体の先端からチャンバーのナット部に結露防止板を通した全ねじボルト（化粧ナット付）を差し込んでください。

- ②トップ本体をチャンバーにしっかりと固定するように全ねじボルト（化粧ナット付）をねじ込んでください。  
注) ねじ込みすぎに注意してください。



(c) コーキング処理

必要に応じてトップ本体と壁面に隙間のないようコーキングを行ってください。

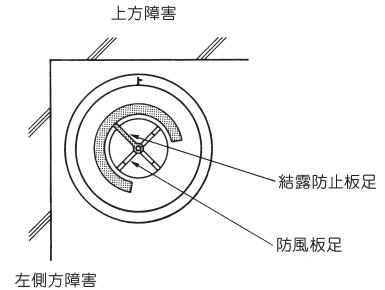


注)

結露防止板は、冬期の側壁及び底などへの結露水の付着を防止します。上方障害及び側方障害がある場合は結露防止板を必ず取り付けて下さい。

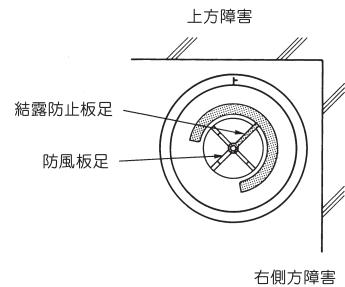
(3) 結露防止板の取り付け

- (a) 上方障害と左側に側方障害がある場所に取り付ける場合。
  - ①結露防止板の足を右図のように取り付けてください。（結露防止板の足と防風板の足を重ねるように取り付けてください。）
  - ②左側方障害物は壁面に取り付いてあるウォールトップ向かって左側です。



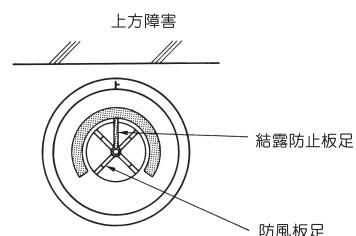
- (b) 上方障害と右側に側方障害がある場所に取り付ける場合。

- ①結露防止板の足を右図のように取り付けてください。（結露防止板の足と防風板の足を重ねるように取り付けてください。）
- ②右側方障害物は壁面に取り付いてあるウォールトップ向かって右側です。



- (c) 上方障害だけの場所に取り付ける場合。

- ①結露防止板の足を右図のように取り付けてください。（結露防止板の足が防風板の足のあいだの位置にくるように取り付けてください。）



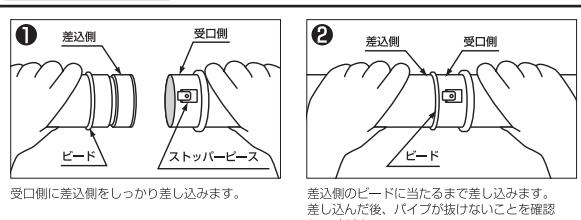
### 3 热源機との接続

- 热源機の「設置工事説明書」に従い正しく設置してください。  
特に給気筒・排気筒を逆接続しないよう、十分にご注意ください。

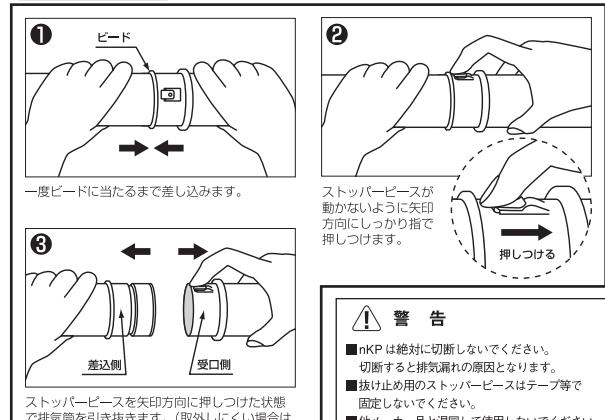
### nKP 工事説明書

nKPを使用する場合は下記の接続方法及び取り外し方法をご参照のうえ、正しく接続して下さい。

#### 排気筒を接続する場合



#### 排気筒を取外す場合



△ 排気筒を構成する各部およびガス機器本体との接続部が容易に外れないよう堅固に取り付けてください。